

岐阜県

定住外国人の就労に関する実態調査事業報告書

平成 23 年 3 月

財団法人岐阜県国際交流センター

1. 調査の目的

在住外国人の就労に関するニーズ調査を実施し、外国人就労支援のための施策や具体的事業を推進するための基礎資料とする。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

岐阜県及び周辺地域のブラジル、中国、フィリピン人(帰化含む)。

(2) 調査方法 言語

岐阜県内に拠点を置くブラジル・中国・フィリピン人の自助組織を通じたアンケート調査。アンケート調査票はポルトガル語、中国語、英語、及び日本語のいずれかで実施。

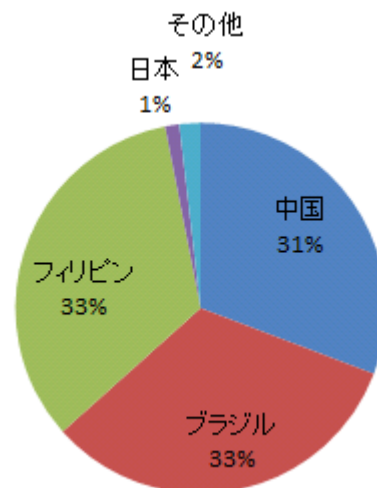
(3) 実施期間

平成 23 年 1 月 17 日～平成 23 年 3 月 18 日

3. 調査結果

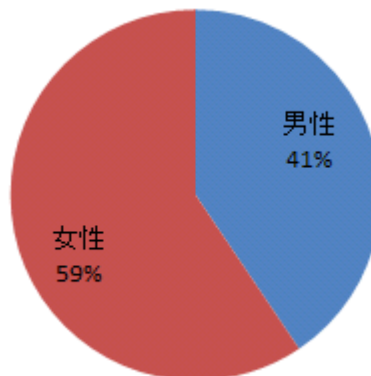
【Q1. 国籍】

回収数 325 件中、中国 100 人(帰化含む)、ブラジル 106 人、フィリピン 109 人、日本 4 人、その他 6 人であった。



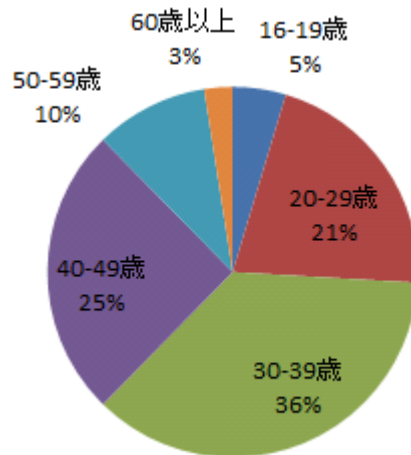
【Q2. 性別】

男性が約 40%、女性が約 60%であった。



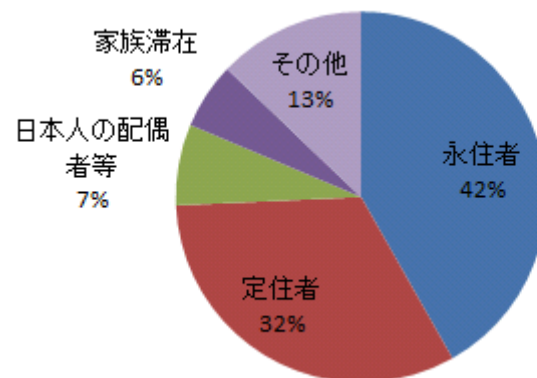
【Q3. 年齢】

30代がもっとも多く約35%、40代が約25%、20代が約20%であった。



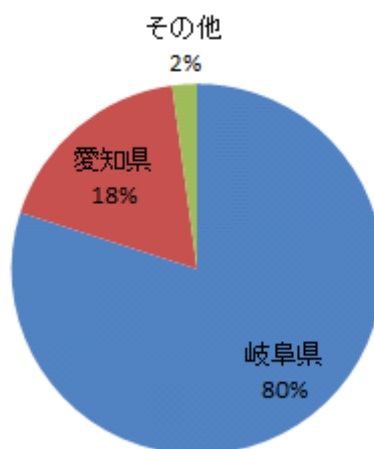
【Q4. 在留資格】

永住者が約40%、定住者約35%と両方で全体の75%を占める。



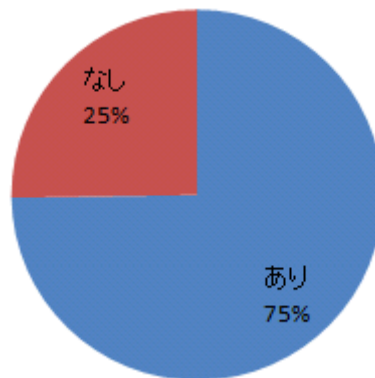
【Q5. 居住地】

回答者の約80%が岐阜県在住者であった。



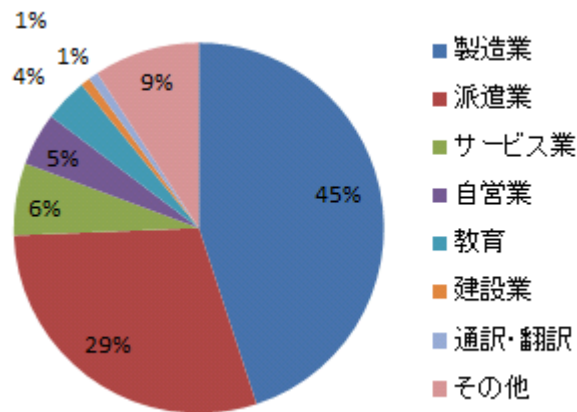
【Q6. 職業の有無】

回答者のうち、約 75%は仕事がある」と回答している。



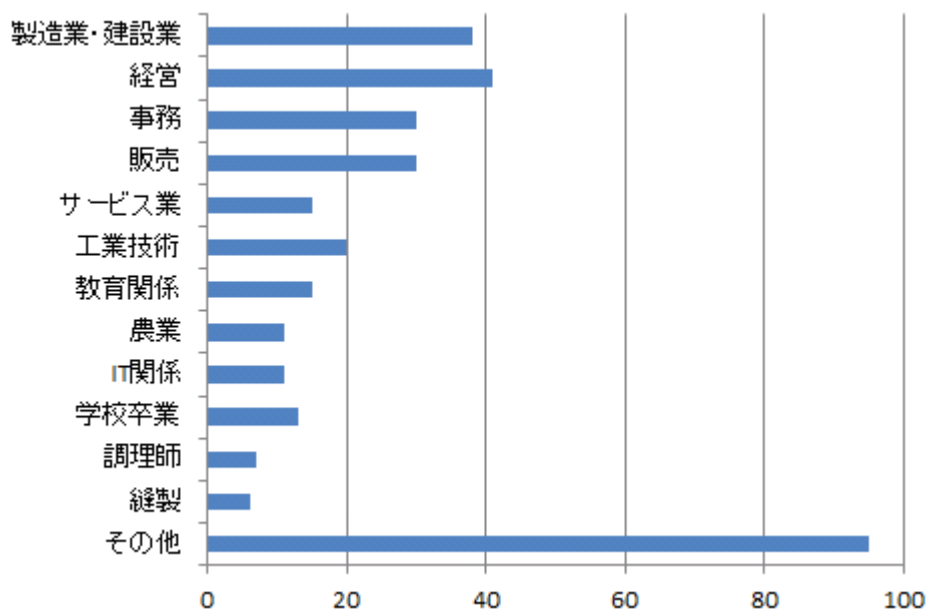
【Q7. 職種】

製造業と派遣業で全体の 3/4 を占めた。



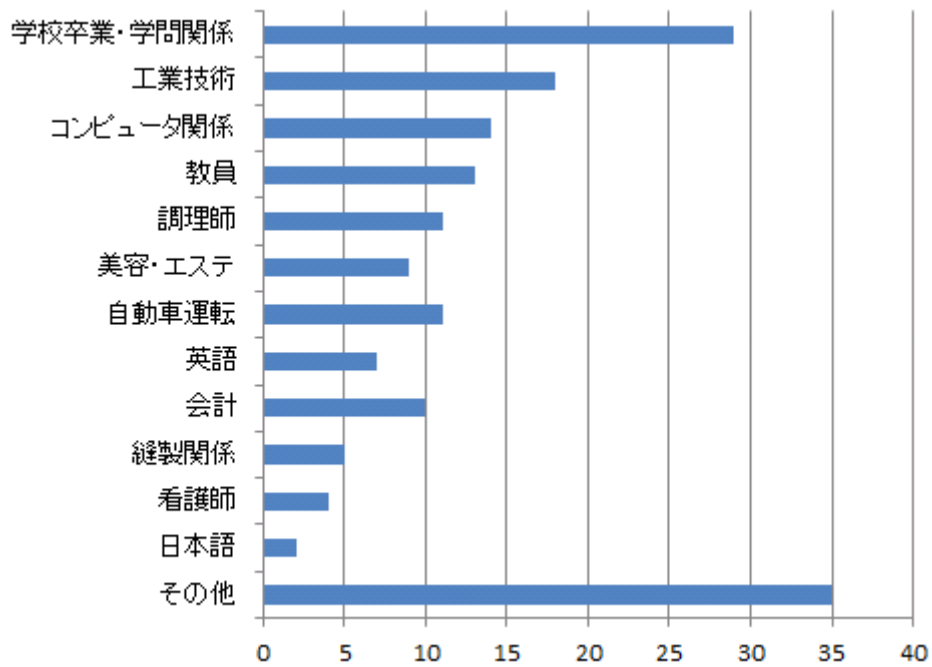
【Q8. 母国での職種】

母国で「経営」に携わっていた者がもっとも多く 41 人、「製造業・建設業」が 38 人、「事務」「販売」が 30 人と続く。「その他」は銀行員・カメラマン・マッサージ師、運転手、図書館司書等。



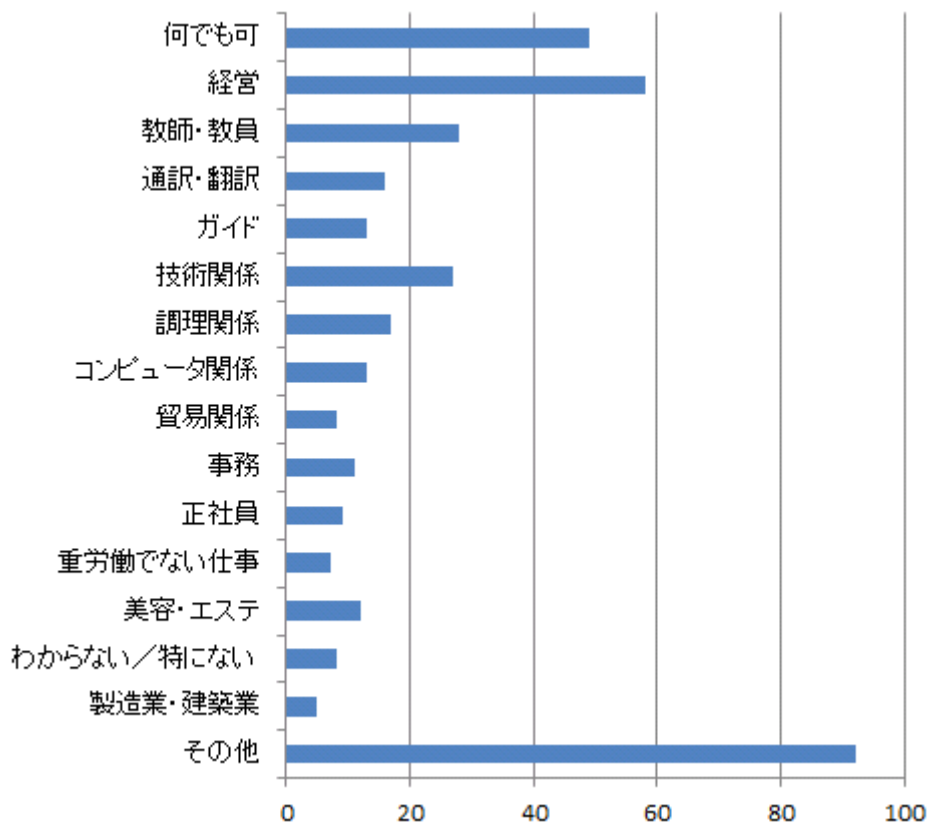
【Q9. 母国で得た資格】

「学校卒業・学問関係」がもっとも多く29人、「工業関係」が18人、「コンピュータ関係」が14人、「教員」が13人と続く。「その他」は保育士、マッサージ、マーケティング、ファッションデザイン等。



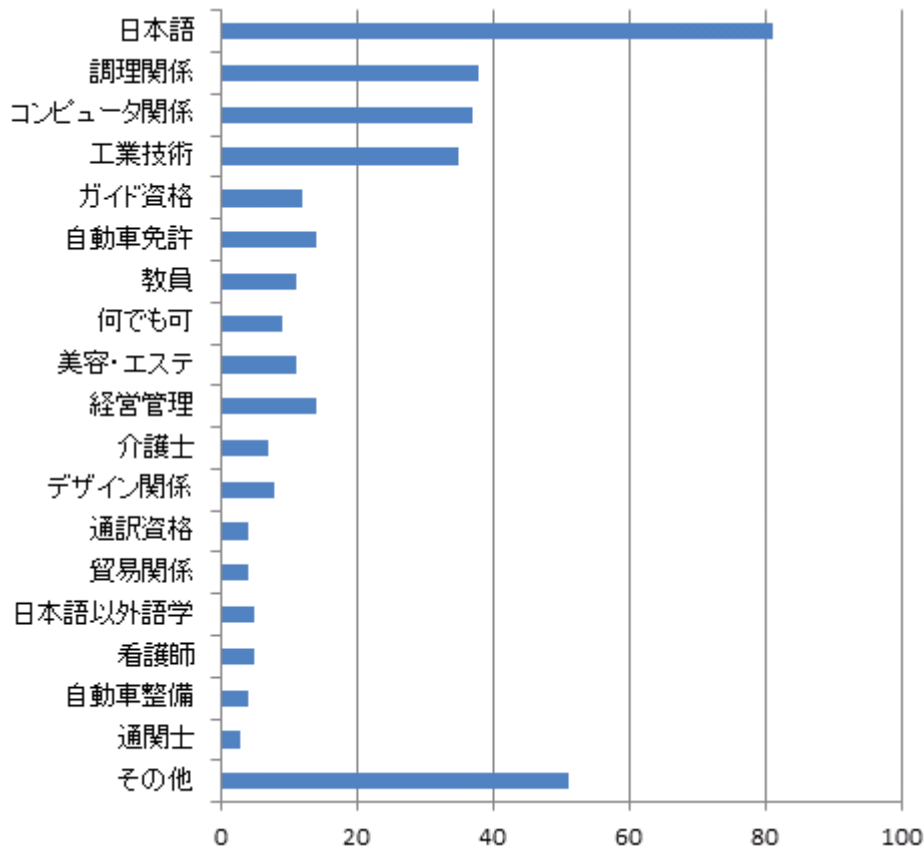
【Q10. 今後就きたい職業】

「経営」がもっとも多く58人、「何でも可」が49人、「教師・教員」が28人。「その他」はソーシャルワーカー、不動産、スタイリスト、フラワーアレンジメント、国家公務員等。



【Q11. 今後取得したい資格】

日本語能力試験等「日本語」関係の資格が 81 人、「調理関係」が 38 人、「コンピュータ関係」が 37 人、「工業技術」が 35 人と続く。「その他」は農業、簿記、日本の専門資格(保育士、教員、社労士等)等。



【Q12. 仕事に関してほしい情報】

中国は貿易や(中国からの観光客向けの)添乗員など中国語を活かした仕事に関する情報を求める意見が多く、ブラジルは労働法など法律に関することや仕事に活かせる資格取得に関する情報、フィリピンは情報の英語・タガログ語等への翻訳を求める意見が多かった。

- ・翻訳された色々な仕事情報(中国 10-50 代、ブラジル 10-50 代、フィリピン 20-50 代)
- ・バスの添乗員に関する情報(中国 20 代・30 代・50 代)
- ・貿易に関する仕事情報(中国 20 代・30 代)
- ・労働法・失業手当等、法律に関する情報(ブラジル 10-50 代、フィリピン 30 代)
- ・IT関係(中国 20 代・30 代)
- ・仕事に活かせる資格が取得できる講座(外国人向け)の情報(ブラジル 30 代)
- ・外国人の雇用に関する情報(ブラジル 30 代・40 代)
- ・賃金、待遇等、仕事内容の正確な提示(フィリピン 20 代・30 代)

【Q13. その他(仕事に関して何かご意見・ご質問があればお書きください)】

- ・外国人向け仕事に関して情報発信数が少なく、不十分。(中国 20 代)
- ・派遣契約が一カ月更新のため大変。(中国 10 代)
- ・時給が安い。(ブラジル 10 代・20 代・30 代)
- ・現在は安定はしているが、もっと自分たちの仕事を認めてほしい。(ブラジル 20 代)
- ・外国人への差別を感じる。(ブラジル 20 代)
- ・日本人と仕事ができるように日本語を喋るようにしている。(ブラジル 20 代)
- ・外国人雇用のマーケットが小さい。資格を持っていても日本人と競争できるのか。(ブラジル 30 代)
- ・日本語ができて資格がないと就職ができないと思う。(ブラジル 40 代)
- ・学校の通訳の仕事が安定すると良い。一年ごとの更新だが 5 年続けたので次回は更新されない。(ブラジル 40 代)
- ・給与や休暇、ボーナスなど、全ての面において、同じ仕事であれば、日本人も外国人も同じ待遇を求める。(フィリピン 20 代)
- ・私たちがフィリピンで得ている資格も認めてほしい。(フィリピン 20 代)
- ・きちんと働けるように、外国人労働者に関する法的整備をしてほしい。(フィリピン 30 代)
- ・外国人は、どんなスキルを持っていても、ほとんどは工場労働者である。その大きな理由はコミュニケーションにある。したがって、日本語を学ぶ環境を整えるべき。また、その他の技術やビジネススキルに関する訓練も同様に必要である。(フィリピン 30 代)
- ・働いている会社で直接雇用してほしい。(フィリピン 30 代)
- ・日本語の理解が不十分で、また会話がしっかりできないことで、多くの外国人は、応募すらできない状態にある。したがって、ぜひ日本語教室、特に週末の教室を拡充していただきたい。(外国人を支援していただいて、本当に有難うございます。)(フィリピン 40 代)
- ・自分が何をやりたいのかもわからない。適職のアドバイスなどを行っている機関があれば教えてほしい。(パラグアイ 30 代)

定住外国人の就労に関する実態調査事業報告書

平成 23 年 3 月

発行:財団法人 岐阜県国際交流センター

住所:〒500-8384 岐阜市 藪田南5-14-53 岐阜県民ふれあい会館6F

Tel:058-277-1013

FAX:058-272-8839

E-mail:gic@gic.or.jp

(財)岐阜県国際交流センター 平成22年度 外国人就労支援事業<アンケート案>

Q1. 国籍

中国 ブラジル フィリピン 日本 その他()

Q2. 性別

男性 女性

Q3. 年齢

16～19歳 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60歳以上

Q4. 在留資格

永住者 定住者 日本人の配偶者等 永住者の配偶者等 家族滞在
 興行 研修 特定活動 就学 留学 短期滞在 技能
 企業内転勤 人文知識・国際業務 宗教 その他()

Q5. 所在地

岐阜県()市/町 岐阜県外()

Q6. 職業

あり → Q7へ なし → Q8へ

Q7. 職種 ※職場での業務内容ではありません

製造業 建設業 自営業() サービス業()
 通訳・翻訳 派遣業 教育 その他()

Q8. 母国での職歴(複数ある方は、経験年数の長い順に3つまでお書きください)

① []
② []
③ []

Q9. 母国で得た資格(複数ある方は、3つまでお書きください)

① []
② []
③ []

Q10. 今後就きたい職業(希望するものを3つまでお書きください)

① []
② []
③ []

Q11. 今後取得したい資格(希望するものを3つまでお書きください)

① []
② []
③ []

Q12. 仕事に関してほしい情報

--

Q13. その他(仕事に関して何かご意見・ご質問があればお書きください)

--